

交換留学（派遣）帰国報告書

.....
留学先大学：サンレイ大学
留学先での所属学部・研究科：法学部
留学先での在籍身分：学部生
留学期間：2016年9月～2017年1月
神戸大学での所属学部・研究科：法学部
学年（出発時）：3年
本報告書記入日：2017年1月29日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：9月12日

学年終了月日：1月28日

学期：

①9月12日～1月28日

②__月__日～__月__日

③__月__日～__月__日

④__月__日～__月__日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

ブリュッセル市内にキャンパスを有する数少ない大学の1つで、社会科学分野に定評あり。総合大学と比較して学生数が少ないため教授との距離が近く、緊密な関係を築くことができる。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

学期開始前に一週間フランス語のクラスあり。また、学期中もフランス語の授業を受講することができる。

勉学面でのサポート：

授業内で疑問に思ったことに対しては、授業担当教授が丁寧に答えてくれたと感じる。

精神面でのサポート：

ESNセクションの学生が学生生活のサポートだけでなく、留学生パーティー等も開催してくれたため、比較的容易に留学生活に溶け込めた。

住居・生活面でのサポート：

住居担当の方がしっかり手続きを進めてくれたため特に問題なし。

課外活動のサポート：

学期開始前にIntegration weekがあり、EU諸機関、博物館等を訪れる機会が設けられていたためいい経験になった。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

私が滞在したRue Royaleは多少古いものの、部屋にシャワーがついていたこと、少人数で共有のキッチンとトイレが使用できたことがよかった。ただし、サンルイ大学の専用アパートではないため、他の大学で学ぶ留学生も多く、同じ大学で学ぶ留学生とのネットワーク構築という点では大学専用のアパートに滞在した方がよかったのではないかと感じる。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

神戸大学から勧められた学研災付帯海外留学保険に加入した。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

特になし

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

元々アパートに組み込まれていたものを使用した。

大学でのPCの使用の可否：使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

数は少ないものの、図書館にPCが置かれていた。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通わず

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

急な気温変化があると体調を崩しやすいため、こまめに気温をチェックするようにしていた。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

全て現金とクレジットカード一枚で済ませました。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

あまり他者の迷惑を顧みない傾向がある。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

特になし

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

神戸大学ブリュッセルオフィス主催のワークショップに参加した。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

あまり治安がよいとはいえないが、危機管理がしっかりしていれば危険な目にあうことはないと感じる。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

国家公務員志望のため就職活動はしなかった。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) JASSO , 8万 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

ベル通

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

部屋履き

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：() 点→帰国後() 点

もちろん語学力の向上はありますが、ヨーロッパ各国の多様性を実感できたことがよかったのではないかと思います。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

特に大きなトラブルには直面していません。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

法学部教務、日欧連携教育府共に、留学前の準備サポートから留学中のやり取り等十分なサポートがあったと思います。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

留学を通して広い視点を養うことは将来に必ず役立つと考えるため、本留学プログラムに参加することを強く勧めます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 5

留学先大学： サンルイ大学留学先での所属学部・研究科： 法学部留学先での在籍身分： 学部生留学期間： 2016 年 9 月～ 2017 年 29 月神戸大学での所属学部・研究科： 法学部学年（出発時）： 3年本報告書記入日： 2017 年 1 月 29 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Introduction to the culture of English Speaking World	François van der Mensbrugge	2	3	200	オーラルテストですが、しっかり授業に出ればテストポイントを押さえることができると思います。
2	European law	François van der Mensbrugge	4	6	80	判例を押さえ、なおかつオーラルテストなので、かなり勉強する必要があると思います。
3	Seminar on International and European organizations	Fanny LUTZ	2	5	40	様々なEU機関を訪問できたことがよかったです。
4	Ethics and the Economy	Yannick VANDERBORGHT	2	3	40	毎週Reading Materialが出されますが、そこまで多くないので授業についていくことは可能です。
5	FLE		2	5	10	
6						
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

期末テストのみで評価されるため、しっかり授業に出て、かつ、十分なテスト勉強時間を取るべきだと考える。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 15万程度・住居費：（月額） 5万円 ×（留学月数） 5 ヶ月 = 25万円・食費：（月額） 4万円 ×（留学月数） 5 ヶ月 = 20万円・保険料： 5万円・その他： 35万円合計： 100万円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

今回交換留学生として海外で学べてよかったと思うことについて二点記述したいと思います。まず一つ目は、海外で何事にも対応できる度胸と粘り強さが身についたことです。中々言葉が通じず、また日本と異なり、三次産業にサービス精神が導入されていないため、自分が要求することが伝わるまで説明するということが求められました。また、私の場合、ベルギー在住のための住民票取得に通常より多くの手続きを踏む必要があったため、忍耐強く待つ必要がありました。こうした経験を通して、何事にも寛容に、そして、時には積極的に主張を通すことができるようになりました。

次に二つ目は、コミュニケーションの難しさについて実感したことがあります。互いに母国語でない英語を通してしか会話ができない中で、いかに相手の話を聞こうとするか、そして、相手も自分の話を聞いてくれているかという所に意思疎通の成功があることを学びました。日本にいる場合、同じ日本語をしゃべること、また、似通った文化背景を持つことで、ある程度のコミュニケーションは容易に図ることが出来ます。しかし、共通の文化的基盤を持たない者と会話を成立させるためには、互いの話を聞き理解することが必要不可欠です。まずは自分が相手の話を理解しようと努め、その上で相互理解の上に基づくコミュニケーションが成り立つ、意思疎通の成功は一筋縄ではいかないですが、その分話が進んだ際には達成感を感じました。

他にも、家族と離れて暮らすことで、普段家族にサポートされているありがたみや、自活の大変さも身に染みて感じました。また、勉強面においても専門分野の知識不足、語学力の不十分さを突き付けられました。留学では、普段の生活を通して、ベルギー以外のヨーロッパ諸国への旅を通していろいろな発見、気づきがあり、非常に充実した留学生活が送れたと思います。留学で得た気づきを次へのステップアップとして学びに変換できるよう、残りの神戸大学での生活にもしっかりと取り組みたいと思います。